

日本建築学会・公開研究会

# 「住環境を価値づけるための

# 不動産的視点」



## テーマ

かつて人口の増加とともに都市が拡張し、土地利用が高度化する時代には合理的に機能した住環境の価値体系が存在した。しかし、人口減少時代に入り、土地利用の高度化への圧力が緩まるとともに、空き家や未利用地などが増加するような状況下においては、その数値的価値と実体的価値との照応関係が揺らぎはじめています。そして、単に住環境に関わるスペックを高めることが、その実質的な居住価値向上への有効な解法とならない場面が生じてきている。

本公開研究会では、不動産学的視点から土地・建物などの住環境に関わる価値体系を解題した上で、新しい住環境の価値につながる先導的事例のケーススタディと議論を行ない、これからの時代の住環境価値のパラダイムのあり方を展望することで、今後の新たな研究や問題解決の端緒としたい

- ▶ **主催**：日本建築学会・都市計画委員会  
新しい住環境価値の創造小委員会
- ▶ **日時**：2015年 2月23日（月）  
18:00～20:00
- ▶ **会場**：建築会館会議室301, 302
- ▶ **参加費**：会員1,000円、会員外1,500円、学生  
500円（資料代含む／当日会場払い）
- ▶ **定員**：50名（申込み先着順）

## ▶ Web申込み：

<https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1022>  
よりお申し込みください。

## ▶ 問合せ：事務局 研究事業グループ

浜田 TEL 03-3456-2051

## ＜プログラム＞

**主旨説明**：野澤康（工学院大学）

### 1. 基調講演

田村誠邦（アークブレイン／明治大学）  
「住環境価値と不動産的価値」（仮題）

### 2. 事例報告・ディスカッション

(1)密集市街地の整備と接道条件などによる

不動産価値への影響

(2)地方都市の空洞化、駐車場化と

不動産価値との関連

パネラー：田村誠邦（前掲）岡絵理子（関西大学）  
山中知彦（新潟県立大学）

モデレーター：田中友章（明治大学）

司会：内田奈芳美（埼玉大学）